

科目名	総合教養(日本文化)		
担当者	水谷 隆		
学年	1	単位	2
クラス	全学科		
開講年度学期	2015年度 Ⅲ学期～Ⅳ学期		
授業の目標	総合科目では、自己を豊かにするための幅広い社会的教養を身につけるために、最新の多様な情報に触れつつ、社会の動向を知り、多面的なものの考え方を知ること为目标とする。また女性としての視点も交えながら各分野に関連する時事的問題を随時取り上げ、一般常識を身につける。 日本文化の授業では、私たちが普段何気なく交わしている言葉や、日常の習慣などをテーマに取り上げて、それらの持つ意味やあり方について考察を加えていく。		
授業内容	日常生活に関わる様々な事象を文化という観点から考察し、解説をしていく。同時に、受講生個々の経験や考えをつきあわせて、これからの社会を生きていく人間として求められるだろう素養についても考えていくこととする。		
授業計画	1 ガイダンス・「日本文化」とは何か 2 風土・地理について1 日本の範囲・地名のことなど 3 風土・地理について2 世界における位置と気候と文化のことなど 4 歴史に関する考察1 日本史の外観と、文化の関係について 5 日本の言葉と文化1 日本語の特質 6 日本の言葉と文化2 待遇表現 7 日本の言葉と文化3 位相語と手紙のことなど 8 マナーとタブーのこと1 食文化を中心に 9 マナーとタブーのこと2 服飾文化や社会生活など 10 年中行事概説1 春 11 年中行事概説2 夏 12 年中行事概説3 秋 13 年中行事概説5 冬 14 世界から見た日本文化1 欧米文化との関係 15 世界から見た日本文化2 アジアの中の日本		
成績評価基準(評価方法)	定期試験(100%) 授業中に考察した内容がどの程度定着し、自分のものにできているかをペーパーテストで問う。		
他の科目との関係等学習上および履修上の注意点			
授業では、マスコミ等で話題になっている話題を積極的に素材として取り上げていく予定である。そのため、シラバスに記した授業予定を変更することがある。また受講に際しては、新聞等のメディアに多く触れ時事問題・話題についての知識を得るようつとめること。			
教科書			
書籍名	著者	出版社	出版年
使用しない			
参考文献			
書籍名	著者	出版社	出版年
適宜紹介する。			
その他			
予習: 日々のニュースを見ておくこと。また映画や出版物等、文化的な事象に関心をもち、積極的に楽しむこと。 復習: 授業内容を振り返り、日常の生活の中で当てはまる事象について再確認すること。 受講生としてのマナー(授業中に説明します)に反する行為が、注意しても改められないことが度重なる場合は以後の出席を認めない。			